

泉大津市文化財調査報告36

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報22

2004・3

泉大津市教育委員会



泉大津市文化財調査報告36

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報22

2004・3

泉大津市教育委員会

例 言

1. 本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である。
2. 本調査は、国庫補助事業（補助対象経費1,000,000円、国庫補助率50%、市負担率50%）として泉大津市が計画・実施したものである。
3. 本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	楠畠 正史
事務局	泉大津市教育委員会事務局	生涯学習課
担当者	坂口 昌男 虎間 麻実 村田 文幸	
調査補助員	野田 由恵 烏野 百合	

4. 本事業は、平成15年度事業として、平成15年4月1日に着手して、平成16年3月31日に完了した。
5. 本書の執筆、編集は、虎間が行った。

目次

第1章 泉大津市と埋蔵文化財調査の状況	1
1. 泉大津市の位置と環境	1
2. 埋蔵文化財調査の現状	3
第2章 発掘調査成果	5
1. 池上曾根遺跡	5
2. 豊中遺跡・七ノ坪遺跡	7
3. 池浦遺跡	12
4. 虫取遺跡	15
5. 大岡遺跡	18
6. 板原遺跡	19
発掘調査抄録	23

抑 表

挿	表1 発掘調査一覧表	4
	図	
第1図	泉大津市の位置	1
第2図	市内遠望写真	1
第3図	遺跡分布図	2
第4図	遺跡別工事内容内訳	3
第5図	池上曾根遺跡 調査区位置図(1:10,000)	5
第6図	2003-09地点トレンチ写真	6
第7図	2003-09地点東壁断面写真	6
第8図	2003-09地点断面図	6
第9図	豈中遺跡・七ノ坪遺跡 調査区位置図(1:10,000)	7
第10図	2003-01地点写真 (上段左:トレンチ1写真、上段右:西壁断面写真) (下段左:トレンチ2写真、下段右:西壁断面写真)	8
第11図	2003-01地点トレンチ西壁断面図 (上:トレンチ1、下:トレンチ2)	9
第12図	2003-07地点トレンチ写真 (左:トレンチ1、右:トレンチ2)	10
第13図	2003-07地点トレンチ2 南壁断面図	10
第14図	2003-14地点南壁断面図	10
第15図	2003-14地点トレンチ写真	10
第16図	2003-05地点トレンチ写真	11
第17図	2003-05地点北壁断面写真	11
第18図	2003-05地点北壁断面図	11
第19図	池浦遺跡 調査区位置図(1:10,000)	12
第20図	2003-02地点トレンチ写真	13
第21図	2003-02地点西壁断面写真	13

第22図	2003-02地点西壁断面図	13
第23図	2003-11地点トレンチ写真	14
第24図	2003-11地点南壁断面写真	14
第25図	2003-11地点北壁断面図	14
第26図	虫取遺跡 調査区位置図(1:10,000)	15
第27図	2003-04地点トレンチ写真	16
第28図	2003-04地点西壁断面図	16
第29図	2003-08地点トレンチ写真	16
第30図	2003-08地点東壁断面写真	16
第31図	2003-08地点東壁断面図	17
第32図	2003-10地点トレンチ写真	17
第33図	2003-10地点東壁断面写真	17
第34図	2003-10地点東壁断面図	18
第35図	大園遺跡 調査区位置図(1:10,000)	18
第36図	2003-12地点トレンチ写真	19
第37図	2003-12地点断面模式図	19
第38図	板原遺跡 調査区位置図(1:10,000)	20
第39図	2003-03地点西壁断面図	20
第40図	2003-03地点トレンチ写真	21
第41図	2003-03地点西壁断面写真	21
第42図	2003-06地点トレンチ写真	21
第43図	2003-06地点東壁断面写真	21
第44図	2003-06地点東壁断面図	22
第45図	2003-13地点トレンチ写真	22
第46図	2003-13地点西壁断面写真	22
第47図	2003-13地点西壁断面図	22

第1章 泉大津市と埋蔵文化財調査の状況

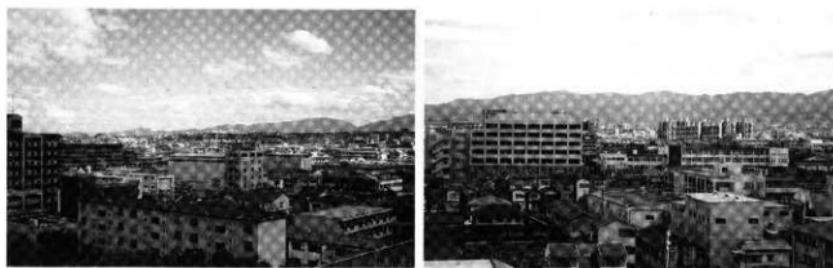
1. 泉大津市の位置と環境

泉大津市は大阪府南部の泉州地域に属する。泉州地域東部には、大阪湾に沿って東西に和泉山脈が連なる。その山脈を源として幾多の河川が北に走行し、大阪湾に注ぐ。これらの河川はそれぞれ開析谷、河岸段丘を形成し、その両側には丘陵地形が南北方向に発達している。その丘陵より北側は平坦で狭小な沖積地が形成されているが、泉大津市はこの沖積地上に立地しており、市域の標高は20m未満である。

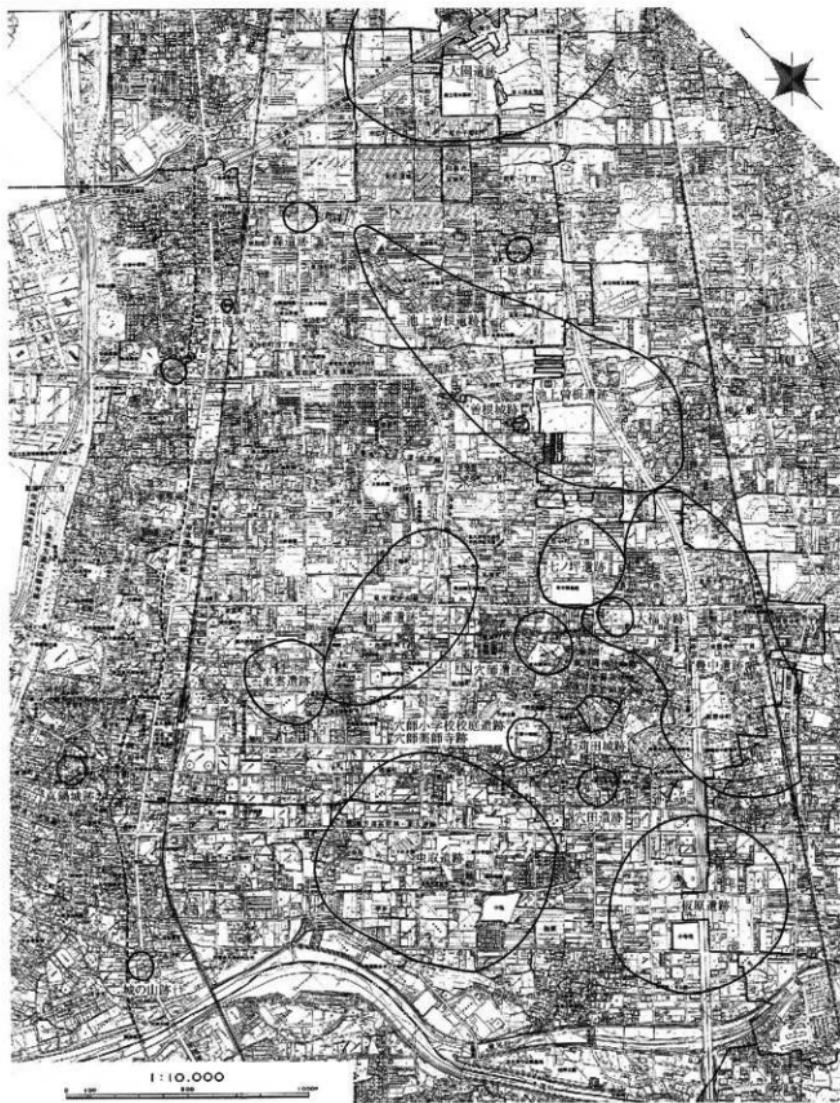
泉大津市は面積12.32km²、人口77,805人である（平成15年12月1日現在）。昭和40年頃から開発が進み、現在は市域全域が市街地化されている。市域は、大阪湾に面した臨海部の工業地域、南海本線から阪和線にかけての住居地域と商工業地域が混在する地域、国道26号線周辺の商業地域に大きく分けることができる。住居地域には、助松の紀州街道沿いと泉穴師神社周辺にそれぞれ風致地区を設けている。近年、臨海部での高層住宅や織維工場跡地での分譲住宅の建設が進み、市の景観の変化は著しい。いわゆるバブル景気崩壊以後、大規模開発は下火になっているものの、古い民家の取り壊しや木造個人住宅の鉄筋造への立替えなどが進み、町並みにも大きな変化が見られる。



第1図 泉大津市の位置



第2図 市内遠望写真（左：池上曾根遺跡方面、右：豊中遺跡方面）



第3図 遺跡分布図

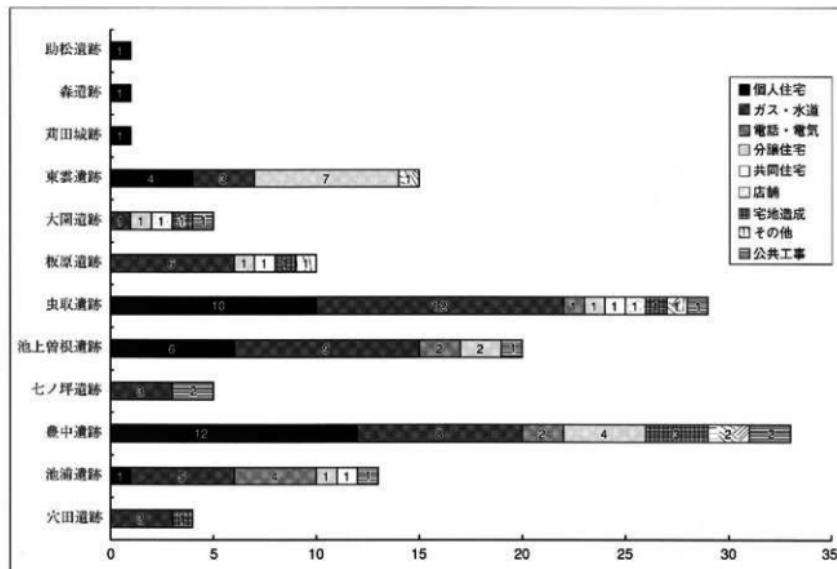
2. 埋蔵文化財調査の現状

本概報は、平成15年1月～12月までに発掘調査を実施したものを掲載対象とする。当該期間内の埋蔵文化財届出件数は137件で、発掘調査件数は14件である。調査件数は、平成12年度6件、平成13年度12件、平成14年度14件と、ここ数年間は非常に少ないが微増傾向にある。

第4図は、遺跡別工事件数の内訳である。遺跡別に届出件数をみると、豊中遺跡、虫取遺跡、池上曾根遺跡の順で多い。

総届出件数に占める工事内容は、ガス・水道・電気・電話を含む個人住宅関連工事が約7割を占めている。次いで分譲住宅の件数が多い。

本概報で報告する調査は、豊中遺跡4件、池上曾根遺跡1件、池浦遺跡2件、板原遺跡3件、虫取遺跡3件、大園遺跡1件の合計14件である。いずれも建物基礎掘削深度が遺構面を損壊する可能性があるため、着工前の確認調査を行ったものである。但し、遺構を確認し、本発掘調査に至ったものはない。



第4図 遺跡別工事内容内訳

表1 発掘調査一覧表

○池上曾根遺跡

調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-09	森町2丁目214-3	木造2階建個人住宅	230.12

○豊中遺跡

調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-01	東豊中町2丁目962番地4、962番地5	鉄筋コンクリート5階建特別養護老人ホーム	1,896.99
2003-07	豊中町2丁目252-1、253-1	分譲住宅宅地造成	1,025.09
2003-14	東豊中町1丁目87番1の一部	木造2階建個人住宅	366.94

○七ノ坪遺跡

調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-05	北豊中町2丁目514-3	軽量鉄骨2階建長屋建住宅	1,201.62

○池浦遺跡

調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-02	池浦町4丁目209番1	鉄骨3階建グループホーム	940.73
2003-11	池浦町4丁目184-2、188-1、188-2、271-1、里道、水路	分譲住宅宅地造成	1,457.79

○虫取遺跡

調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-04	板原312-6、312-7の各一部、313-3	木造2階建個人住宅	614.12
2003-08	虫取町1-42-1、258-1、258-6の各一部	鉄骨3階建店舗付共同住宅	220.05
2003-10	虫取町2丁目86-1の一部、87の一部、89-2の一部	分譲住宅宅地造成	1,970.4

○大園遺跡

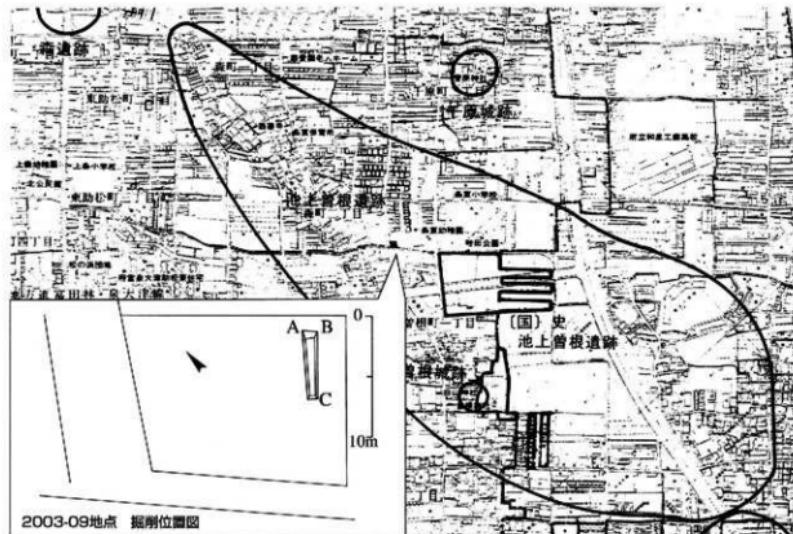
調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-12	綾井3-1、3-2、3-3、和泉市島の葉町428-3、-6、-7、-8、430-2、-5、-6	分譲住宅宅地造成	2,603.72

○板原遺跡

調査番号	所 在 地	用 途	届出面積(m ²)
2003-03	我孫子1丁目623番の一部	鉄骨2階建共同住宅	368.7
2003-06	我孫子150番	鉄骨3階建児童福祉施設	932.93
2003-13	板原町2丁目1045、1046	分譲住宅宅地造成	916.56

第2章 発掘調査成果

1. 池上曾根遺跡



第5図 池上曾根遺跡 調査区位置図(1:10,000)

池上曾根遺跡は本市曾根町と和泉市池上町に広がり、遺跡範囲約105ヘクタールのうち、約11.5ヘクタールが史跡に指定されている。本市域における遺跡の範囲は、曾根神社以西から森町、千原町の一部を含み、南北に広がりを持つ。史跡指定地以外の地域は、旧村落と昭和40年代以降の開発部分が混在しており、小区画の開発が多く大規模な調査は行われていない。そのため、史跡地中心部の構造に比べ、周辺部は不明な点が多い。今年度は木造2階建個人住宅建設工事に先立ち、1件の確認調査を実施した。

2003-09地点（森町2丁目214-3）

当該地は、遺跡の中央部に位置する。木造2階建個人住宅建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地東端にトレンチを設定し、重機で深さ約2mまで掘削を行った。現況

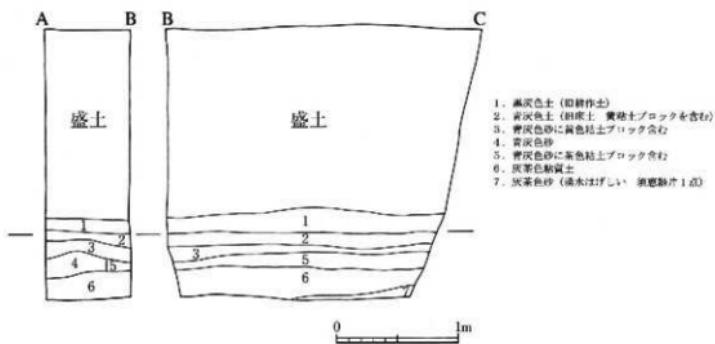
地盤より1.5mは宅地化に伴う盛土である。以下、旧耕作土、旧床土、黄色粘土ブロックを含む青灰色土、青灰色砂、茶色粘土ブロックを含む青砂、灰茶色粘質土、灰茶色砂に至る。灰茶色砂からは湧水が激しくその下層は砂礫になっている。この砂礫は須恵器の破片を含む。当該地は、史跡地の西の縁辺に位置し、付近では古墳時代の流路の存在が確認されている。この砂礫もその一部の可能性が高い。遺構の検出はなかった。基礎ベースの下部に杭が入るが、基礎ベースが現況地盤より1mであることを確認し、写真撮影、図面作成を行い、本調査をもって終了した。



第6図 2003-09 地点トレンチ写真

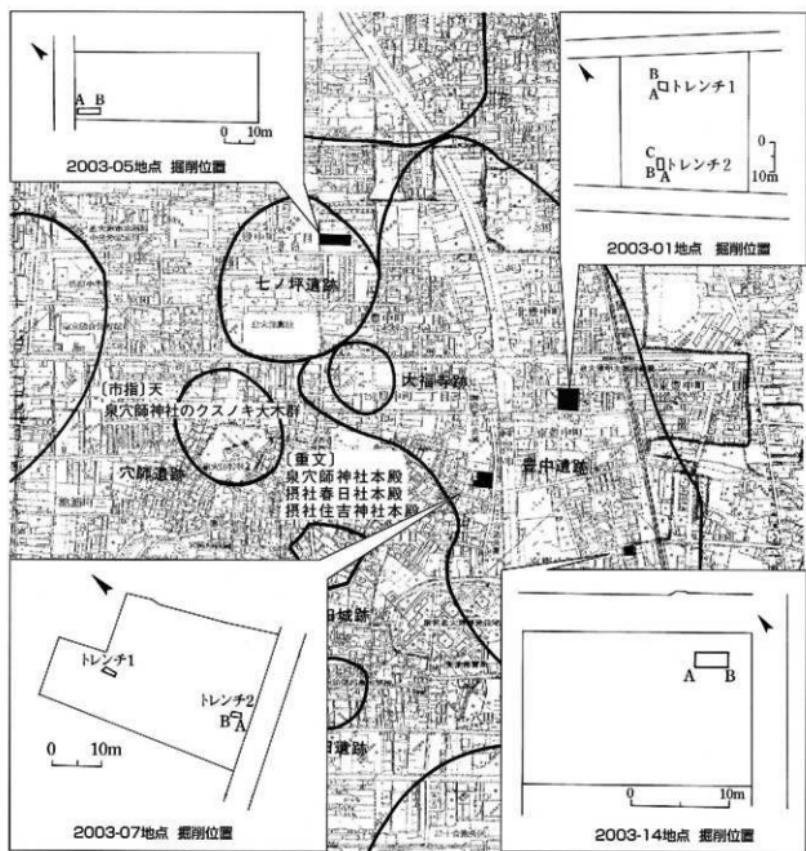


第7図 2003-09 地点東壁断面写真



第8図 2003-09 地点 断面図

2. 豊中遺跡・七ノ坪遺跡



第9図 豊中遺跡・七ノ坪遺跡 調査区位置図(1:10,000)

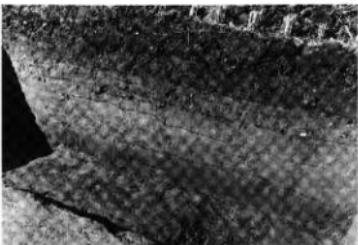
豊中遺跡は、国道26号線を長軸に、市の東端に広がる遺跡で、面積は約490ヘクタールである。現在までに、最も継続して調査が行われている遺跡で、その成果から国道付近は古墳時代の、泉大津中央線付近は平安～中世にかけての集落がみつかっている。中世の遺構として、南北方向に流れる水脈上に井戸が多数見られるのも当遺跡の特徴である。今年度は、特別養護老人ホーム、分譲住宅に先立つ宅地造成、個人住宅の3件の調査を実施した。

七ノ坪遺跡は北豊中町一帯に所在する。遺跡の名称は、当該地付近の字名が「七ノ坪」である

ことによる。周囲は、約1kmと小規模であるが弥生時代の溝・古墳時代の溝・4世紀後半の方形周溝墓・5世紀前半の住居跡・木棺直葬墓などが発見されている複合遺跡である。遺跡の中心部は府立泉大津高校周辺で、高校近辺の調査は、これまでに数多く行なっているが遺物の発見はあるものの明確な遺構の検出には至っていない。本年度は、長屋建て住宅の建設に先立って確認調査を実施した。

2003-01地点（東豊中町2丁目962番地4、962番地5）

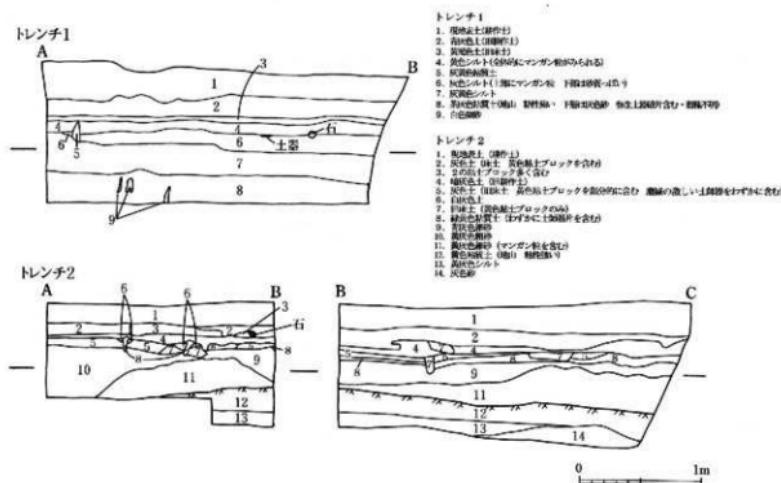
当該地は、遺跡の中央部に位置する。特別養護老人ホーム建設が予定されたため工事に先立ち調査を実施した。敷地内の北と南にそれぞれトレーニングを設定し、北をトレーニング1、南をトレーニング2とした。それぞれ重機で掘削を行った。トレーニング1の基本層序は、1. 現地表土（耕作土）、2. 旧耕土（青灰色土）、3. 旧床土（黄褐色土）、4. 黄色シルト、6. 灰色シルト、7. 灰黄色シルト、地山の8. 茶灰色粘質土まで、ほぼ水平の堆積である。3、4、6層の上部は遺物包含層で、土師器・瓦器の破片を含む。8層の直上で弥生土器と思われる磨滅の激しい土器片がみられる。



第10図 2003-01地点 写真（上段左：トレーニング1写真、上段右：西壁断面写真）
(下段左：トレーニング2写真、下段右：西壁断面写真)

8層の下層は灰色砂である。

トレンチ2は、1～7は耕作土、旧床土などでトレンチ1とはほぼ同様である。8. 緑黄色粘質土、以下は9. 青灰色細砂、10. 黄灰色粗砂、11. 黄灰色細砂の砂層がみられる。これらの下層は、地山（12. 黄灰色粘質土）、13. 黄灰色シルト、14. 灰色砂に至る。5、8層は磨滅した土師器をわずかに含む層であるが、他層では遺物は全く認められない。9～11の砂層は、自然流路中の砂と思われるが遺構は認められないため、写真撮影・図面作成を行い調査終了とした。



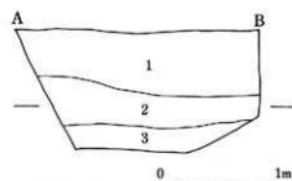
第11図 2003-01地点 トレンチ西壁断面図（上：トレンチ1、下：トレンチ2）

2003-07地点（豊中町2丁目252-1、253-1）

遺跡の西端に位置する。分譲住宅の建設に伴い、位置指定道路が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。位置指定道路箇の南側にトレンチ1、北側にトレンチ2を設定し、重機で掘削を行った。トレンチ1は、現況地盤より約1.2mの掘削を行ったが盛土内であった。トレンチ2は、1.0mまで掘削し、1. 盛土、2. 灰色シルト、3. 灰色砂に至る。その下層は湧水が激しい。2層は土師器片をわずかに含むが、ガラス片、ワイヤーなども含む。遺構は認められない。写真撮影、図面作成を行い調査終了とした。



第12図 2003-07地点 トレンチ写真（左；トレンチ1、右；トレンチ2）



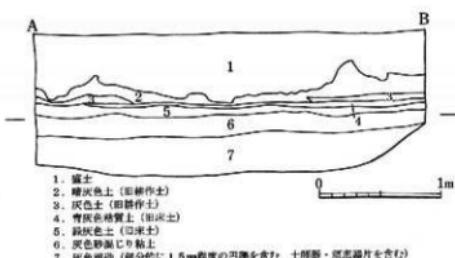
1. 黒色砂質土（盛土）
2. 暗色シルト（土器片わざかに見られるが、ガラス片、ワイヤーなども含む）
3. 黒色砂（海水がほりげし）

第13図 2003-07地点 トレンチ2南壁断面図

2003-14地点（東豊中町1丁目87番1の一部）

遺跡東端に位置し、和泉市域と隣接する。木造2階建個人住宅の建設に先立ち合併浄化槽部分の調査を実施した。浄化槽部分に3.5m×2.5mのトレンチを設定し、重機で掘削を行った。

50~60cmの盛土の下は、旧耕作土（2. 暗灰色土、3. 灰色土）と旧床土（4. 青灰色粘質土、5. 緑灰色土）、6. 灰色砂混じり粘土、7. 灰色粗砂に至る。7層は部分的に直径15mm程度の



第14図 2003-14地点 南壁断面図



第15図 2003-14地点 トレンチ写真

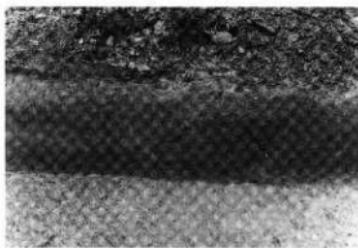
円礫を含む層で、摩滅の激しい土師器・須恵器も認められる。旧古池の自然河川の一部であろうと思われる。図面作成・写真撮影を行い、調査を終了した

2003-05地点（北豊中町2丁目514-3）

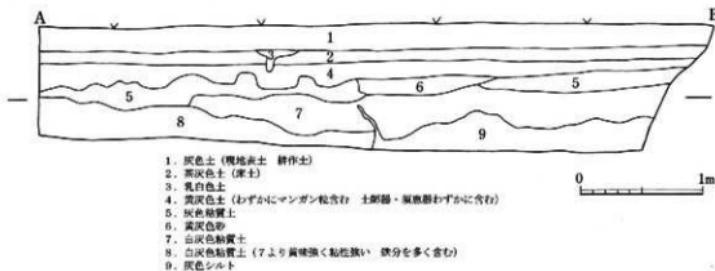
七ノ坪遺跡の東端に位置する。軽量鉄骨造2階建長屋住宅2棟が建設予定されたため、確認調査を実施した。敷地の西端に、トレンチを設定し重機で掘削を行った。現地表土は耕作土で、その下層は床土である。以下、4. 黄灰色土、5. 灰色粘質土と6. 黄灰色砂、7. 白灰色粘質土、8. 白灰色粘質土、9. 灰色シルトに至る。4層は土師器・須恵器の破片をわずかに含むが、明確な遺物は認められない。遺構も確認できないため、写真撮影・図面作成を行い調査を終了した。



第16図 2003-05地点 トレンチ写真



第17図 2003-05地点 北壁断面写真



第18図 2003-05地点 北壁断面図

3. 池浦遺跡



第19図 池浦遺跡 調査区位置図 (1:10,000)

池浦遺跡は、弥生時代前期中段階に始まる泉州地域で最も古い弥生集落として知られている。市のほぼ中央部に位置し、遺跡の中心部は市立病院の東側であると推測される。池上曾根遺跡との関わりを考察する上で重要な遺跡であるが、これらの調査成果は昭和40~50年代にかけてのこととで、昭和60代以降は、大規模開発がほとんどみられない。これにより、近年の調査は確認調査にとどまっているが、平成9年度の調査で朝鮮系の無文土器の体部を検出した。但し、遺構は認められなかった。今年度は、福祉事業に伴うグループホーム建設、分譲住宅建設に先立つ宅地造成が予定されたため確認調査を実施した。

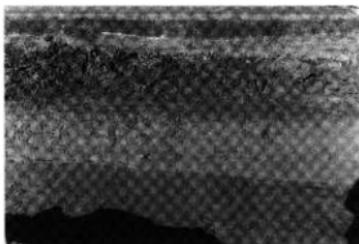
2003-02地点（池浦町4丁目209番1）

遺跡の南端に位置する。鉄骨3階建グループホームの建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地西隅に11mのトレンチを設定し、重機により掘削を行った。なお、道路面まで盛土を実施するため、50cmの掘削にとどめた。

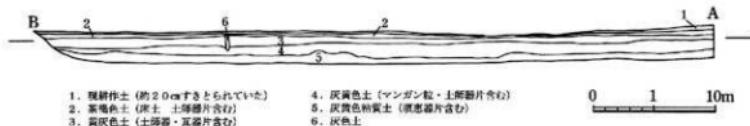
地表土は、耕作土で20cm漉き取られていた。床土の2.茶褐色土、3.黄灰色土、4.灰黄色土、5.灰黄色粘質土に至る。2~5層までは、いずれも遺物包含層で、土師器・瓦器・須恵器の破片を含むが、遺構は認められなかった。写真撮影・図面作成を行い、調査を終了した。



第20図 2003-02地点 トレンチ写真



第21図 2003-02地点 西壁断面写真



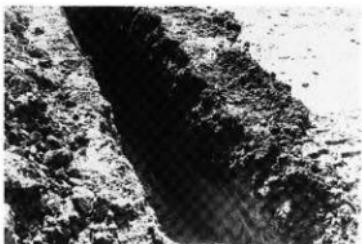
第22図 2003-02地点 西壁断面図

2003-11地点（池浦町4丁目184-2、188-1,-2、271-1、里道、水路）

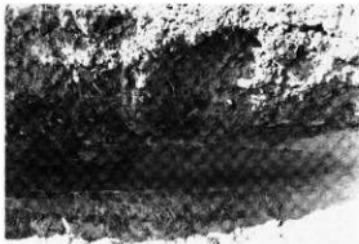
遺跡の南端に位置する。2003-02地点の南隣に位置する。分譲住宅建設に先立つ宅地造成が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。

位置指定道路予定箇所に、約6mの長さのトレンチを設定し、深さ2mまで重機にて掘削を行ったが、トレンチより東側は、従前の工場の基礎により、大きく搅乱をうけているようである。

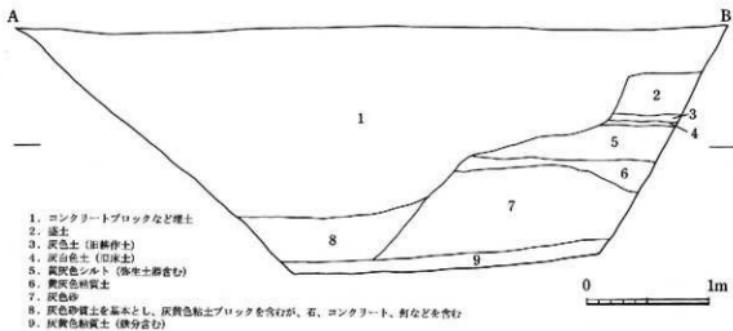
盛土、旧耕作土、旧床土の下層に磨滅した弥生土器を含む黄灰色シルトがみられるが、その下層の8層はコンクリート、釘などを含み、搅乱を受けている。トレンチ西側では、基礎のため掘削が困難であった。遺構は確認できなかったため、写真撮影・図面作成を行い調査を終了した。



第23図 2003-11地点 トレンチ写真

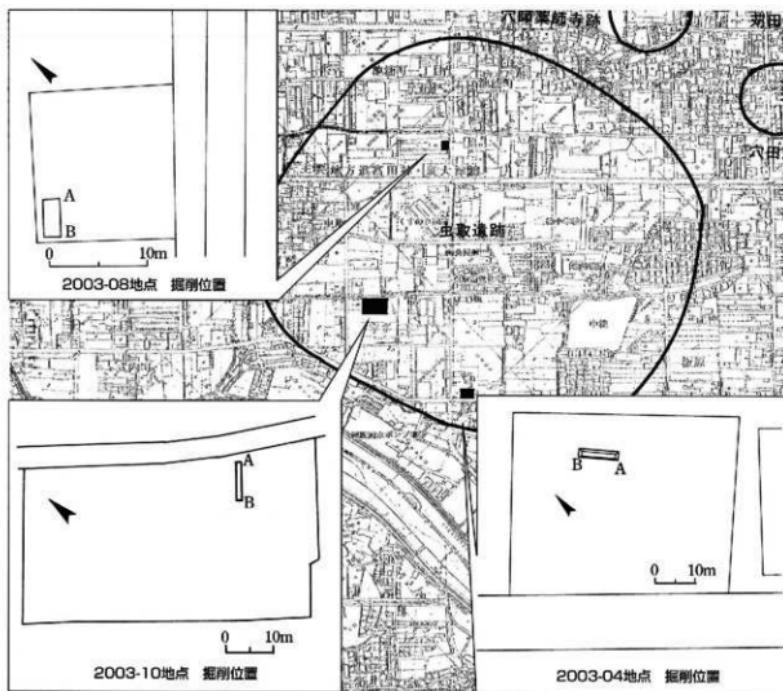


第24図 2003-11地点 南壁断面写真



第25図 2003-11地点 南壁断面図

4. 虫取遺跡



第26図 虫取遺跡 調査区位置図 (1:10,000)

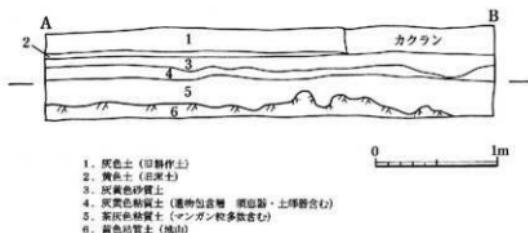
虫取遺跡は池上曾根遺跡に次ぐ面積を有する弥生時代の遺跡である。近年、宅地開発の増加が進む地域で、これまでに顕著な遺構が認められない場合が多くたが、羽釜・瓦器碗などを伴った中世井戸や溝などの中世居館を思わせる遺構を検出し、調査の進展により新たな成果が期待できる遺跡である。今年度は、個人住宅、店舗付共同住宅、分譲住宅建設に伴う宅地造成の3件に先立って確認調査を実施した。

2003-04地点（板原312-6、312-7の各一部、313-3）

遺跡の南端に位置する。基礎掘削深度1.3mの個人住宅建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。建設予定箇所にトレントチを設定し、重機にて掘削を行った。層位は、旧耕作土の灰色土、旧床土の黄色土、以下、3. 灰黄色砂質土、4. 灰黄色粘質土、5. 茶灰色粘質土、6. 黄色粘質土に至る。4層は須恵器・土師器を含む遺物包含層で、6層は地山である。遺構は認められなかったため、写真撮影・図面作成を行い、調査を終了した。



第27図 2003-04地点 トレントチ写真

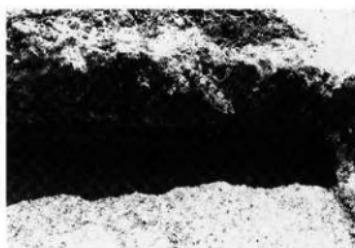


第28図 2003-04地点 西壁断面図

2003-08地点（虫取町1-42-1、258-1、258-6の各一部）



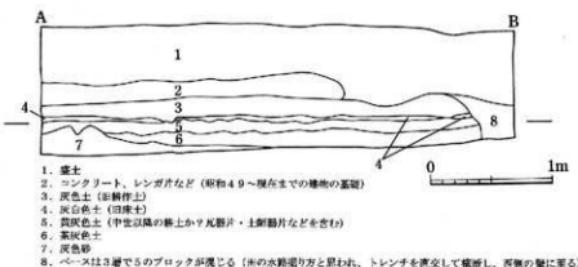
第29図 2003-08地点 トレントチ写真



第30図 2003-08地点 東壁断面写真

遺跡中央よりやや北側に位置する。鉄骨3階建店舗付共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。敷地の西隅に長さ4mのトレントチを設定し、重機で掘削を行った。現地

表土の盛土の下層は、コンクリート、レンガ片などで、昭和49年に建てられた建物の基礎部と思われる。以下、3. 灰色土（旧耕作土）、4. 灰白色土（旧床土）、5. 黄灰色土、6. 茶灰色土、7. 灰色砂に至る。5層は瓦器片・土師器片などを含み、その堆積状態より、近世以前、中世以降の耕土かとも思われる。3層と同レベルで7層に至るまで搅乱がみられるが、トレーニングを横断し、西壁に至ることから、3層耕作時点での掘削された田の水路の掘り方と思われる。遺構は認められず、図面作成・写真撮影を行い調査終了した。



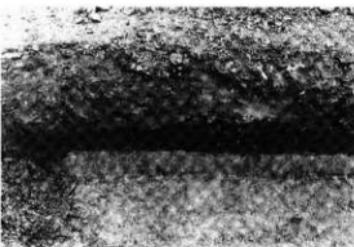
第31図 2003-08地点 東壁断面図

2003-10地点 (虫取町2丁目86-1の一部、87の一部、89-2の一部)

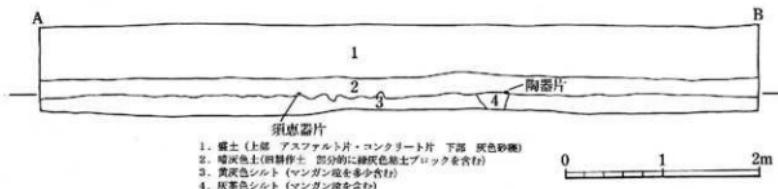
遺跡の西端に位置する。分譲住宅に伴う宅地造成が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。位置指定道路建設箇所に長さ約6mのトレーニングを設定し、重機で掘削を行った。1層は約50cmで、上部はアスファルト片、コンクリート片で下部は灰色砂である。2. 暗灰色土は、旧耕作土で部分的に緑灰色粘土ブロックを含む。3. 灰色シルトの順に堆積がみられる。2層の下部に、須恵器片、陶器片がみられ、3層中に4. 灰茶色シルトがピット状にみられるが遺物は含まない。写真撮影・図面作成を行い調査を終了した。



第32図 2003-10地点 トレーニング写真



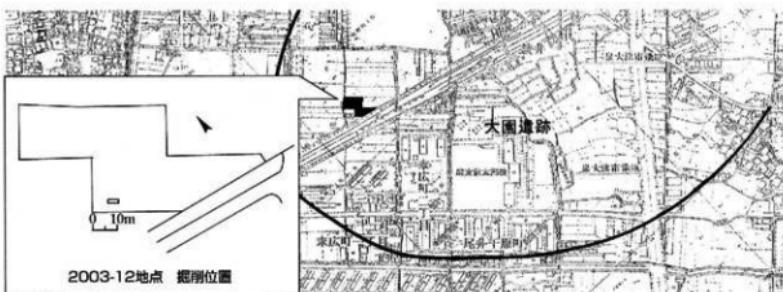
第33図 2003-10地点 東壁断面写真



第34図 2003-10地点 東壁断面図

5. 大園遺跡

大園遺跡は高石市西取石、綾園、和泉市葛の葉町、泉大津市綾井にまたがり、旧石器から中世にかけての遺物・遺構が検出する複合遺跡である。今年度は泉大津市・和泉市にまたがる地点で、分譲住建設工事に先立ち1件の確認調査を実施した。



第35図 大園遺跡 調査区位置図 (1:10,000)

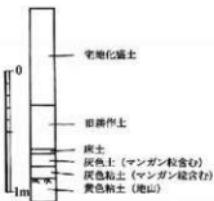
2003-12地点（綾井3-1、3-2、3-3、

和泉市葛の葉町428-3、-6、-7、-8、430-2、-5、-6）

遺跡の西端に位置し、泉大津美原線側道北側に接する地点である。分譲住宅建設に伴う宅地造成が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。位置指定道路部分の掘削を予定していたが、地盤改良予定箇所の方を深く掘削するため、その部分にトレンチを設定し重機で掘削を行った。上層より盛土、旧耕作土、床土、灰色土、灰色粘土、地山である黄色粘土に至る。灰色土は、須恵器・瓦器、灰色粘土は土師器を含む遺物包含層で、床土直下と灰色土直下は遺構面の可能性があり、精査を行ったが、明確な遺構の検出には至らなかった。雨天のため写真撮影後、断面模式図を作成し、地盤改良は床土より上層で実施されることを確認し、調査終了とした。



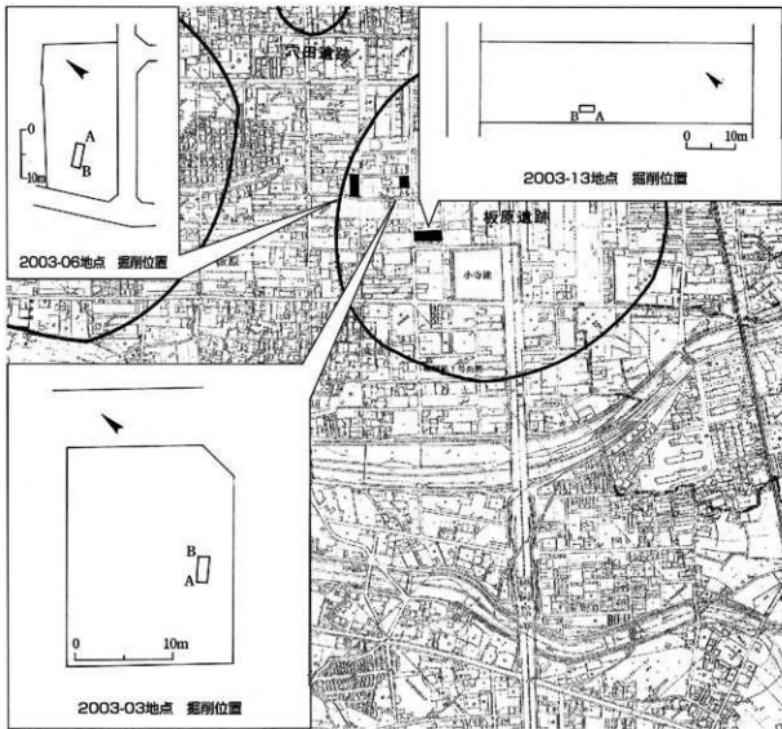
第36図 2003-12地点 トレンチ写真



第37図 2003-12地点 断面模式図

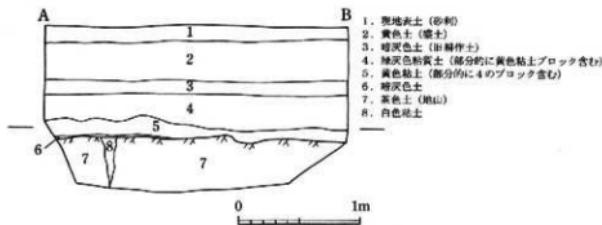
4. 板原遺跡

板原遺跡は、本市板原を中心とし、東南部では和泉市肥子町にまたがる遺跡である。国道26号線の整備に伴う調査により縄文時代の流路や鎌倉時代の掘立柱跡などを検出している。その後の調査では明確な遺構の検出はみられなかったが、昨年度の調査で瓦器軋小片・羽釜小片の出土とともに、中世における耕作状況がうかがえる素掘小溝群が検出された。今年度は、共同住宅、グループホーム、分譲住宅に伴う宅地造成の3件について確認調査を実施した。



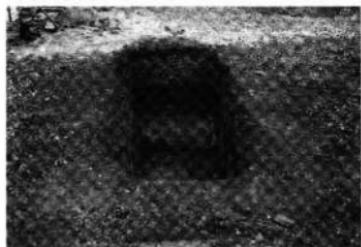
第38図 板原遺跡 調査区位置図 (1:10,000)

2003-03 地点（我孫子1丁目623番の一部）

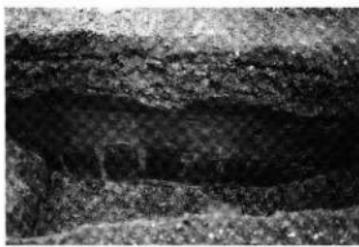


第39図 2003-03地点 西壁断面図

遺跡中央部のやや西側に位置し、三十合池公園グラウンド西側に接する地点である。鉄骨2階建共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。幅1.1m、長さ2.5mのトレンチを設定し、重機で掘削を行った。1、2層は宅地化の盛土で、その下層に3. 暗灰色土、4. 緑灰色粘質土、5. 黄色粘質土、6. 暗灰色土、7. 茶色土に至る。7層は地山で、部分的に8. 白色粘質土が垂直方向にみられる。遺物、遺構は全く確認できないが、5層は、近世以前の耕作土、6層はそれに伴う床土であろうと思われる。写真撮影・図面作成を行い、調査を終了した。



第40図 2003-03地点 トレンチ写真



第41図 2003-03地点 西壁断面写真

2003-06地点（我孫子150番）

遺跡の北端に位置する。鉄骨造3階建グループホーム建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。

敷地南部分に重機でトレンチを設定し、重機で掘削を行った。上層より、灰黄色粘質土、灰黄色砂、黄褐色シルト、黄褐色粘質土に至る。黄褐色粘質土は、マンガン粒、炭片をわずかに含むが、遺構・遺物は認められない。写真撮影と図面作成を行い、調査を終了した。



第42図 2003-06地点 トレンチ写真



第43図 2003-06地点 東壁断面写真



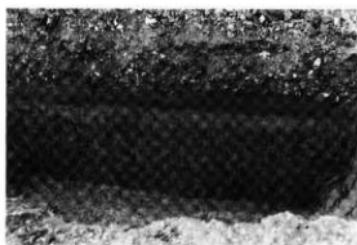
第44図 2003-06地点 東壁断面図

2003-13地点（板原町2丁目1045、1046）

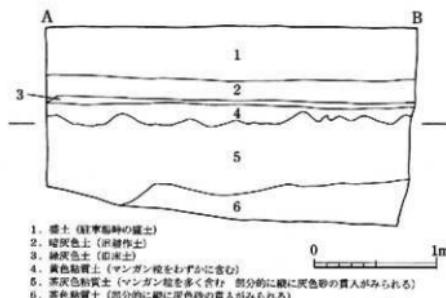
遺跡中央よりやや西側で、小寺池の北側に位置する。分譲住宅の宅地造成に先立ち調査を実施した。位置指定道路部分にトレーンチを設定し重機で掘削を行った。1層は、駐車場時の盛土で、以下、2. 暗灰色土（旧耕作土）、3. 緑灰色土（旧床土）、4. 黄色粘質土、5. 茶灰色粘質土、6. 茶色粘質土に至る。4・5層はマンガン粒を含む層で、5・6層は、部分的に灰色砂が縦方向に入る。遺構・遺物は認められず、写真撮影と図面作成を行い、調査を終了した。



第45図 2003-13地点 トレーンチ写真



第46図 2003-13地点 西壁断面写真



第47図 2003-13地点 西壁断面図

発掘調査抄録 その1

ふりがな	いだみおおつしまいさうふんかざいほくつちよさがいほう					
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報					
副書名						
巻次	22					
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告					
シリーズ番号	36					
編著者名	虎間麻実					
編集機関	泉大津市教育委員会					
所在地	〒595-6686 大阪府泉大津市東雲町9番12号					
発行年月日	西暦 2004年 3月 31日					

ふりがな 所取遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いだみおおつしまいさうふんかざいほくつちよさがいほう 池上曾根	大阪府泉大津市 もちらよしき 森町2丁目214-3	272060		34度 30分 11秒	135度 25分 45秒	20030917	6.84	木造2階建個人住宅建設に伴う事前調査
いだみおおつしまいさうふんかざいほくつちよさがいほう 豊中	大阪府泉大津市 ひがしよななまちよな 東雲中町2丁目	272060		34度 29分 24秒	135度 25分 43秒	20030109	8.8	鉄筋コンクリート 5階建で特別養護老人ホーム建設に伴う事前調査
	962番地4,962番地5			31度 29分 23秒	135度 25分 35秒	20030818	3.92	
	大阪府泉大津市 ひがしよななまちよな 豊中町2丁目 252 1,253-1	272060		34度 29分 14秒	135度 25分 40秒	20031219	5.25	分譲住宅地造成に伴う事前調査
	大阪府泉大津市 ひがしよななまちよな 東雲中町1丁目 87番1の一部	272060		34度 29分	135度 25分			木造2階建個人住宅建設に伴う事前調査

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
いだみおおつしまいさうふんかざいほくつちよさがいほう 池上曾根	集落	弥生 古墳 平安	遺構は検出されなかった	須恵器片1点	
		純文 古墳 平安	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
		中世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	

発掘調査抄録 その2

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所 在 地	コ ー ド		北 檜 ° ° °	東 經 ° ° °	調査期間	調査面積 m ²	調 企 原 因
		市町村	遺跡番号					
ひのつけ 七ノ坪	おおさかみいばみおおつし 大阪府泉大津市 あたとよりかこう 北畠中町2丁目 514-3	272060		34度 29分 43秒	135度 25分 38秒	20030425	14.8	軽量鉄骨2階建 長屋建住宅建設に伴う事前調査
いのくら 池 游	おおさかみいばみおおつし 大阪府泉大津市 いのくらとう 池浦町4丁目 209番1	272060		34度 29分 46秒	135度 25分 8秒	20030115	13.44	鉄骨3階建グレーブホーム建設に伴う事前調査
	おおさかみいばみおおつし 大阪府泉大津市 いのくらとう 池浦町4丁目184-2, 188-1, 188-2, 271-1 里道、水路	272060		34度 29分 45秒	135度 25分 7秒	20031107	5.40	分譲住宅地造成に伴う事前調査
むじとち 虫 取	おおさかみいばみおおつし 大阪府泉大津市 いのくらとう 板原 312-6, 312-7の各一部 313-3	272060		34度 29分 20秒	135度 24分 39秒	20030418	5.5	鉄筋コンクリート造2階建で個人住宅建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	土 な 遺 構	土 な 遺 物	特 記 事 項			
ひのつけ 七ノ坪	集 落 その他の墓	弥 生 古 墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった				
いのくら 池 游	集 落	弥 生 古 墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった				
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった				
むじとち 虫 取	集 落	弥 生 古 境 世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった				

発掘調査抄録 その3

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在 地	コード		北 緯 ° ′ ″	東 經 ° ′ ″	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
むしとり 虫 取	おおさかみやいすみおかおつし 大阪府泉大津市 むじとりちょう 虫取町1-42-1,258-1 258の各一部	272060		34度 29分 32秒	135度 24分 52秒	20030902	7.2	鉄骨3階建店舗付 共同住宅建設に伴う事前調査
	おおさかみやいすみおかおつし 大阪府泉大津市 むじとりちょう 虫取町2丁目 86-1の一部 87の一部,89-2の一部			34度 29分 28秒	135度 24分 39秒	20031106		分譲住宅宅地造成に伴う事前調査
	おおさかみやいすみおかおつし 大阪府泉大津市線井 3-1, 3-2, 3-3 おおさかみやいすみおかおつし 大阪府和泉市篠山町 42-3, 6, 7, 8, 20-2, 5-9			31度 30分 43秒	135度 26分 5秒	20031121		分譲住宅宅地造成に伴う事前調査
いたばら 板 原	おおさかみやいすみおかおつし 大阪府泉大津市 あびこ 我孫子1丁目 62番の一部	272060		34度 29分 7秒	135度 25分 9秒	20030408	2.86	鉄骨造2階建共同 住宅建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項
むしとり 虫 取	集 落	弥 生	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
		古 墳			
		中 世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
おおぞの 大 園	包合地 集 落	旧石器 古 墳 中 世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
いたばら 板 原	集 落	縄 文 古 墳 中 世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	

発掘調査抄録 その4

ふりがな 所取遺跡	ふりがな 所在地	コ ー ド		北 極 ° ° °	東 綏 ° ° °	調査期間	調査面積 m ²	調査原因		
		市町村	遺跡番号							
いたばら 板 原	おおさかみやくみおおわらし 大阪府泉大津市 あざこ 我孫子 150番	272060		34度	135度	20030519	11.5	鉄骨3階建児童福 祉施設建設に伴う 事前調査		
	おおさかみやくみおおわらし 大阪府泉大津市 いたばら 板原2丁目 1045, 1046			29分	25分					
いたばら 板 原	おおさかみやくみおおわらし 大阪府泉大津市 いたばら 板原2丁目 1045, 1046	272060		9秒	6秒	20031205	4.5	分譲住宅宅地造成 に伴う事前調査		
				34度	135度					
所取遺跡名		種別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項				
いたばら 板 原	集 落	縄 文 古 墓 中 地	古 墓	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった					
			中 地	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった					

泉大津市文化財調査報告36

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報22

2004年3月

発行 泉大津市教育委員会
編集 生涯学習課
泉大津市東塙町9番12号

印刷 大阪市大正区三軒家東1-2-9
株式会社 栄光堂印刷所

